

概要版

みどり とちぎ水土里づくりプランⅡ

元気あふれる^{さと}郷をめざして

(平成23～27年度)

平成23年3月

栃木県





農業農村整備と農村振興の役割

農業農村整備

農業の生産性向上等を目的として、農地や農業水利施設などの農業生産基盤を整備保全するとともに、農村地域を支え発展させるため、農村における生活環境の向上を図ります。

農業の担い手を支える農業生産基盤の整備・保全



農地



農業用水路



農業集落道



農業集落排水処理施設

農村の生活環境の向上

農村振興

農村が有する農地、農業用水、環境、有機性資源、農村コミュニティといった多様な地域資源を維持・再生しながら、地域の活性化を図ります。また、環境と調和した再生可能エネルギーの利活用や生物多様性の確保を図ります。

農村協働力による地域の活性化



農産物直売所



都市住民との交流

再生可能エネルギーの利活用と生物多様性の確保



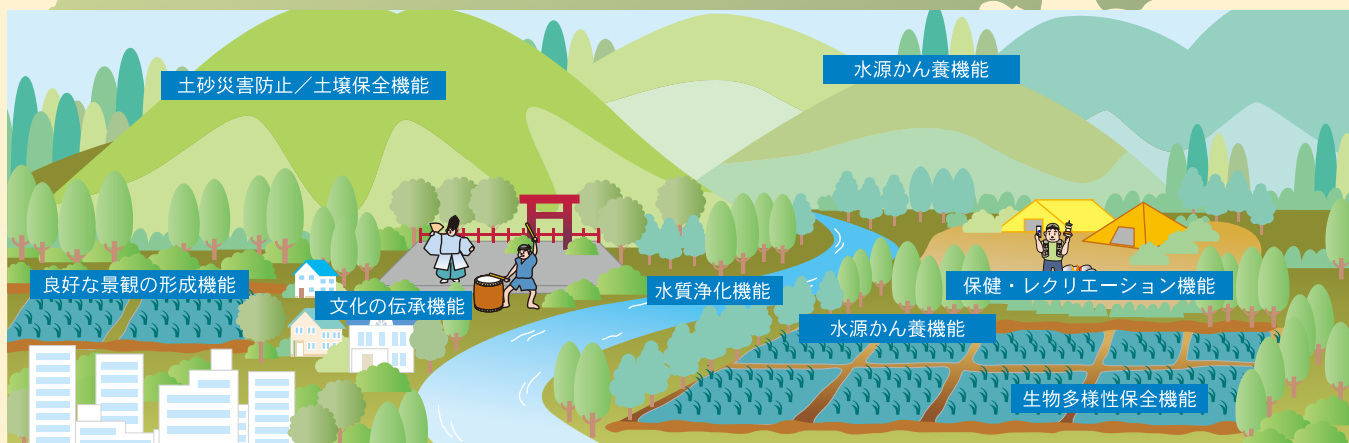
太陽光発電パネル



魚道の整備

農業農村の多面的機能

農業農村は、「食」と「農」を支える重要な役割を担っているほか、^{*}二次的自然を形成し、国土や生態系の保全、健全な水・物質の循環や景観の形成など、多様な役割を果たしています。



※「二次的自然」とは、「二次林、農地など、人と自然が長期間にわたるなかかわりの中で形成された自然」のこと。



施策体系図

基本目標

元気あふれる^{さと}郷をめざして

基本方針

水土里を多様な人が活かし、農業農村を支えていきます

施策の展開方向



多様な人が活かし

人

農村の豊かな地域資源を活用した多様な主体と地域の交流・協働により、活性化を図ります。（農家、地域住民、都市住民、土地改良区、NPO、民間企業等）

豊かな水を活かし



水

農業の持続的発展を支えるため、農業水利施設の機能を将来にわたり適切に保全管理し、農業用水の安定供給を図ります。

広大な農地を活かし



土

安全な食料を安定的に供給するため、地域農業を支える担い手への農地利用集積や良好な生産基盤の整備を地域で考え、生産性の高い農業構造の確立を目指します。

里の魅力を活かし



里

地域資源の活用や多様な主体による農村協働力を高め、豊かな農村環境を保全活用するとともに、都市農村交流による活性化を図ります。

重点取組

1 農業水利施設の保全管理と土地改良区運営強化

1) 計画的かつ効率的・効果的な保全管理

2) 土地改良区の活性化に向けた運営強化

3) 災害防止に向けた整備と支援体制の強化

2 地域の創意と工夫で進める生産基盤の整備

1) 地域みんなで創る農村計画

2) 基盤整備を契機とした担い手の育成と農地集積

3) 地域のニーズにあった低コストな農業農村整備の展開

3 地域資源を活用した都市農村交流による活性化と農村環境の保全・活用

1) 豊かな地域資源の活用促進

2) 地域の協働による豊かな農村環境の維持・保全

3) 鳥獣害対策の推進

4) 再生可能エネルギー利活用の促進

5) 生物多様性の確保の推進

注) はとちぎ農業成長プランの重点戦略の一部



農業農村の現状

1 「水」 (農業水利施設と土地改良区)

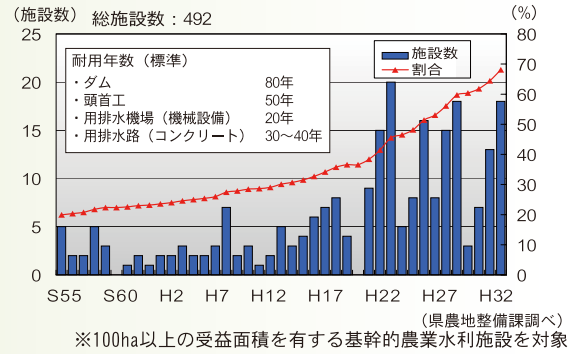
● 農業水利施設

基幹的農業水利施設は、平成21年度現在で約4割、10年後には約7割が標準的な耐用年数を迎えます。

● 土地改良区

農業水利施設等の整備・維持管理等の役割を担っていますが、農業従事者の減少や高齢化、農業所得の減少等により、その役割を十分果たすことが年々難しくなっています。

耐用年数を迎える基幹的農業水利施設の推移



水田整備状況



2 「土」 (農地、水田・畑・農道の整備)

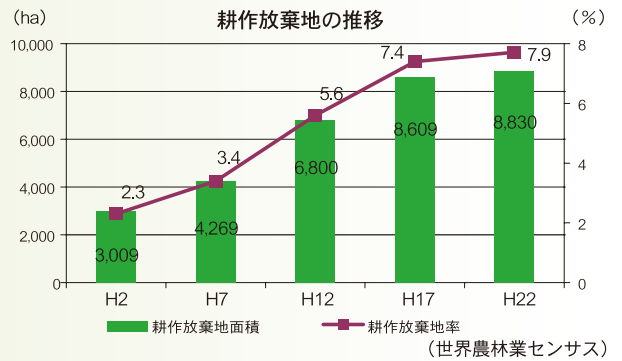
● 水田の整備

農振農用地区域内水田面積の約70%が整備され、水田の大区画化や汎用化などにより生産性の向上と農地の集積による規模拡大が図られました。また、基盤整備を契機に集落営農や農産物直売所への参画等、多様な取組を始めた地域もみられます。

● 耕作放棄地

耕作放棄地の面積は、平成22年には8,830ha (耕作放棄地率7.9%) となっており年々増加しています。

耕作放棄地の推移



3 「里」 (集落機能、生活、自然環境、再生可能エネルギー等)

● 農業農村を取り巻く環境

農業者の減少や高齢化、後継者不足、農業所得の減少など、農業農村を取り巻く環境は厳しく、農村の混住化などに伴い集落機能が低下しています。

● 農村の活力向上

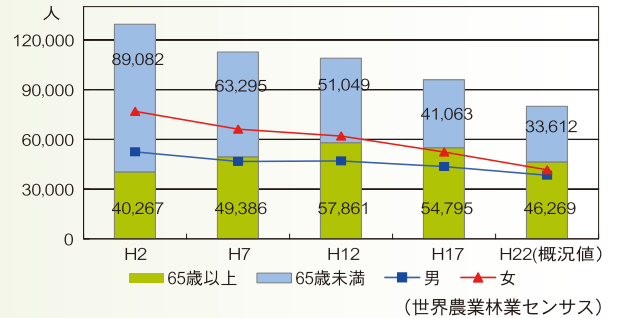
農村の持つ「うるおい」「やすらぎ」や農産物の安全安心に対する都市住民の関心は高く、多様な地域資源を有する農村と都市の交流に期待が高まっています。

また、中山間地域では鳥獣による農作物の被害が見られ、減少傾向にあるものの被害額は4億円程度で推移しています。

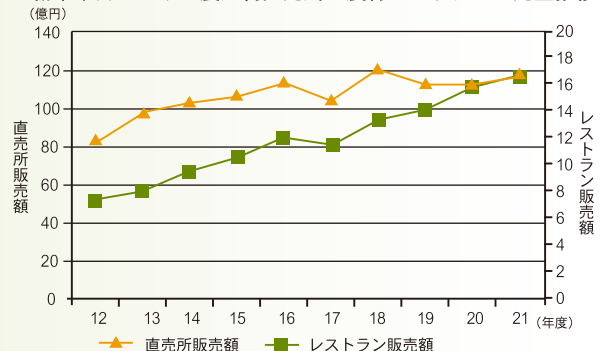
● 再生可能エネルギーの利活用

農山村地域に豊富に存在する小水力や太陽光などの再生可能エネルギーの利活用が期待されています。

農業就業人口の推移



栃木県内における農産物直売所・農村レストランの売上推移





各地域の取組

上都賀地域

- 1) ほ場整備により効率的な水田を整備し担い手へ農地集積
- 2) 生態系に配慮したほ場整備及び環境保全活動
- 3) 観光と連携し、地域資源を活用した農村体験



整備後の大区画水田での田植え（深津地区）

那須地域

- 1) 農業水利施設の保安全管理
- 2) 地域特性を活かした基盤の整備・保全
- 3) 地域資源の保全・活用による活力向上



用水路の長寿命化対策（那須塩原市）

河内地域

- 1) 農業水利施設の計画的な保全対策
- 2) 地域の保全・維持管理活動
- 3) 農産物直売所等の運営支援



新技術による対策工事中のずい道（古用水地区）

安足地域

- 1) 地域の実情を踏まえた生産基盤整備
- 2) 農業水利施設の計画的かつ効率的・効果的な保安全管理
- 3) 多様な協働参画による農村環境保全活動



多様な協働参画による農地・水・環境保全活動（佐野市）

下都賀地域

- 1) 意欲ある担い手を支える基盤整備
- 2) 農業水利施設の適切な整備・保全
- 3) 美しい農村環境・豊かな農産物を活かした都市農村交流



汎用化された圃場での転作作物（大豆）の栽培（野木町）

芳賀地域

- 1) 農業水利施設の計画的な保安全管理
- 2) 魅力満点な地域資源を活かした地域の活性化
- 3) 実需者のニーズに応じた生産基盤の整備



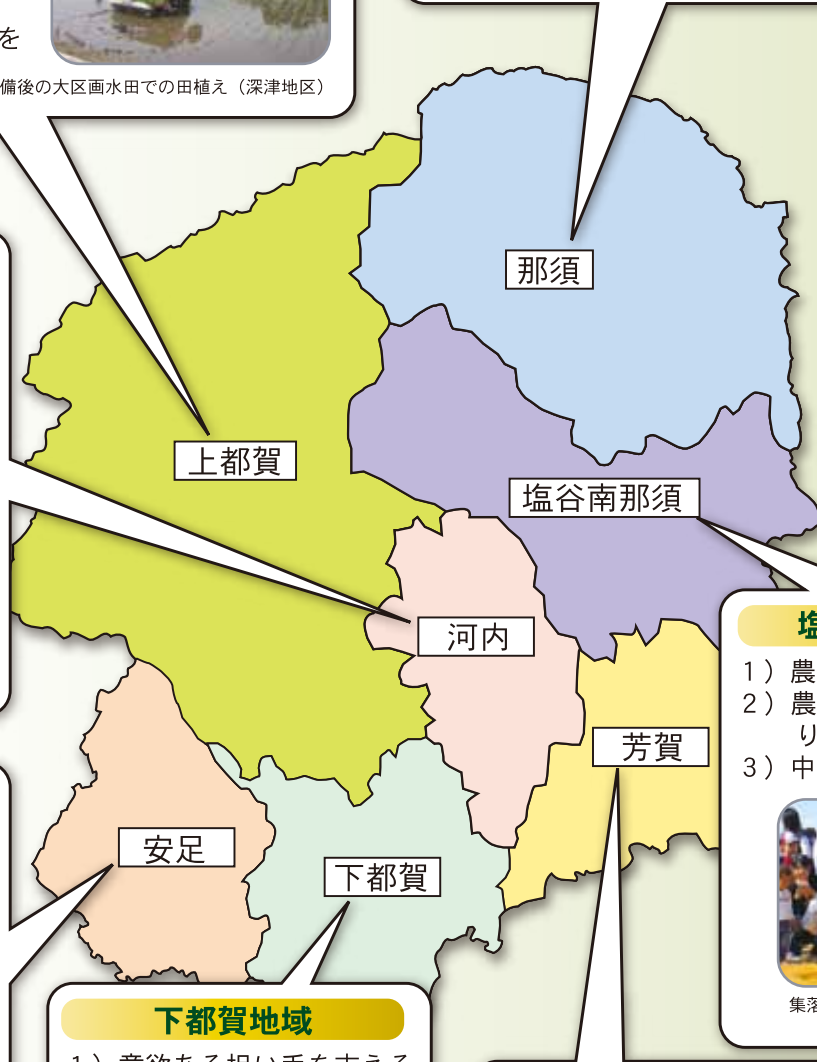
畑地かんがいによるキャベツ栽培（芳賀台地）

塩谷南那須地域

- 1) 農業水利施設の長寿命化
- 2) 農村と消費者の交流づくり
- 3) 中山間地域の活性化



集落営農組合によるイベントでの餅つき交流（高根沢町）





1 農業水利施設の保安全管理と土地改良区の運営強化

(1) 計画的かつ効率的・効果的な保安全管理

○施設管理者の管理体制強化

農業水利施設保安全管理指針の普及や各種講習会を開催します。

○機能診断に基づく機能評価と適切な保安全管理

機能診断の結果に基づき施設機能を評価し、機能保全計画を策定します。機能保全計画により深刻な機能低下が起こる前に適切な保全対策に取り組みます。



機場の機能診断研修

(2) 土地改良区の活性化に向けた運営強化

○統合整備

運営基盤の強化を図るため、土地改良区の統合整備を推進します。

○運営体制の強化

土地改良区の指導を一層充実することにより、運営体制の強化を支援します。

○人材育成

研修会等により土地改良区活動の中核を担う人材を育成します。



整備された取水堰（強口堰）

(3) 災害防止に向けた整備と支援体制の強化

○安全・安心な農村環境形成への支援

自然災害発生防止のため、基幹的農業水利施設の防災機能の強化を支援します。

○農村災害復旧専門技術者の育成による体制の強化

土地改良事業団体連合会と連携し、技術研修会を開催するなど、農村災害復旧技術者の育成を図ります。

2 地域の創意と工夫で進める生産基盤の整備

(1) 地域みんなで創る農村計画

○地域将来構想に基づく整備計画の策定

ワークショップの手法を活用し、農村の活性化に向けた将来構想や、これに基づく整備計画を策定していきます。



ワークショップ

(2) 基盤整備を契機とした担い手の育成と農地集積

○生産基盤の整備による効率的な農業経営の実現に向けた担い手への農地集積の取組

ほ場の大区画化等により農地の貸借や農作業の受委託が行われる生産環境を提供し、農地集積に関する研修会等の開催により農地の集積を推進します。

(3) 地域のニーズに合った低コストな農業農村整備の展開

○効果的かつ経済的な農業農村整備事業の推進

公共工事のコスト縮減に努め、品質確保を徹底します。

○営農コストの低減に資する工事手法の活用

ほ場の大区画化や自動給水栓の導入など営農コスト低減を図るとともに新技術工法の活用を推進します。

○地域の力を活かした簡易な整備等への支援

地域の発意による簡易な整備に対して積極的に支援します。



担い手による大型機械での稲刈り



3 地域資源を活用した都市農村交流による活性化と農村環境の保全・活用

(1) 豊かな地域資源の活用促進

- 都市農村交流施設の魅力向上と食の回廊による情報発信
農産物直売所・農村レストラン等のサービス向上や「田園風景百選」認定地などの新たな資源を活用した「食の街道」づくりを支援し、「とちぎ食の回廊」として全国に情報発信します。
- 地域リーダーの育成
地域づくりに向けた関係者の意識を高め、次世代の人材の確保・育成を支援します。



消費者に喜ばれる品揃えの充実した直売所

(2) 地域の協働による豊かな農村環境の維持・保全

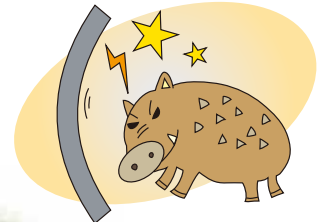
- 多様な主体の参画による地域資源保全活動の促進
地域ぐるみの保全活動や、企業・団体・大学等の多様な主体の参画による実践活動を支援します。
- 企業等の参入による耕作放棄地の再生・利活用の推進
意欲的な企業等と受け入れ集落のマッチングを促進し、簡易な整備を支援します。
- 地域リーダーの育成と環境学習の推進
地域リーダー等の質的向上や共同活動を通じた子ども達への環境学習を推進します。



遊休農地の活用(菜の花の植栽)

(3) 鳥獣害対策の推進

- 地域住民参加による鳥獣害対策の実践
市町や関係機関の連携を強化し、地域に応じた対策を実践できるよう支援します。
- 人材の育成・活用の推進
宇都宮大学農学部附属里山科学センターと連携し、鳥獣管理士の育成及び地域で活動できる体制づくりを構築します。
- 獣類の有効活用
捕獲した獣類等について、食肉や食肉加工品等として有効活用できるよう支援します。



(4) 再生可能エネルギー利活用の促進

- 農業用施設等への再生可能エネルギー供給施設の設置促進
小水力や太陽光発電など、農業用施設等への再生可能エネルギー供給施設の導入を促進します。
- スマートビレッジ構築に向けた検討
再生可能エネルギーを地域内で効果的に利活用するスマートビレッジ構築に向けた総合的な検討・研究を行います。
- バイオマス利活用の促進
「栃木県バイオマス活用推進計画」を踏まえ、各地域の特性に応じたバイオマス利活用の取組を支援します。



農業用水路の小水力発電施設(那須塩原市)

(5) 生物多様性の確保の推進

- 生態系に配慮した水利施設等の工法の検証
工事前後での生態系の変化などを総合的に検証・評価し、補完的対策や改良工法について検討します。
- 生態系に配慮した農業農村整備への理解促進と整備の推進
農業者や消費者の理解促進を図り、生態系に配慮した整備を推進します。
- 多くの生き物を育む農地管理の推進
減農薬栽培等の取組と連携し、生き物を育む農村空間の形成に向けた冬期湛水田等の取組を推進します。



生態系に配慮した工法を取り入れた水路



各地域の農業振興事務所

河内農業振興事務所農村整備部	宇都宮市竹林町1030-2	TEL 028-626-3097
上都賀農業振興事務所農村整備部	鹿沼市幸町1-3-21	TEL 0289-62-6146
芳賀農業振興事務所農村整備部	真岡市荒町5197	TEL 0285-82-4665
下都賀農業振興事務所農村整備部	栃木市神田町5-20	TEL 0282-23-3428
塩谷南那須農業振興事務所農村整備部	矢板市鹿島町20-22	TEL 0287-43-1261
那須農業振興事務所農村整備部	大田原市本町2-2828-4	TEL 0287-23-2153
安足農業振興事務所企画振興部	佐野市堀米町607	TEL 0283-23-1455

とちぎ水土里づくりプランⅡ

平成23年3月発行

編集発行

栃木県農政部

宇都宮市塙田1-1-20

農村振興課

TEL028-623-2363

農地整備課

TEL028-623-2361